



安全だより

第32号

平成29年9月発行

公益社団法人

東大和市シルバー人材センター

安全管理委員会

増田委員長新任の挨拶

皆さんお元気ですか！このたび安全管理委員長に就任しました増田俊一です。よろしくお願ひいたします。

今年は梅雨の季節に異常気象が重なり、各地に大雨による災害をもたらし、いまだに暑い夏が続いています。熱中症の予防、交通事故防止には万全を期していただきたいと思ひます。

高齢化社会の中で、センター会員への期待は、健康で働き、社会に貢献することであります。「安全第一」で就業に携わり、働く喜びを生きがいとし、健康人生を歩むことこそ私たちの願ひであります。

「熱中症予防講習会」実施報告

平成29年7月11日（火）午前10：00から当シルバー人材センター1階にて大塚製薬株式会社東京支店立川出張所：千葉雅裕氏を講師に招き、「温暖化による環境の変化」「実際気温の認識」「熱中症発症者の増加と内容」「熱中症の正体と症状」「罹患しやすいタイプと対策」「効果的手当の仕方」等を教えていただきました。また、大塚製薬からポカリスエットの提供があり、出席者30名に配布されました。

熱中症にかかりやすい人・状態	①肥満体質②高齢者③寝不足④体温・気温が急上昇⑤風邪を罹患⑥熱中症既往者⑦我慢強い⑧遠慮がち。
対策	①塩分等を含んだ水分補給をこまめに行う。（体内吸収には30分位かかる）②発汗を促す（睡眠・風呂・散歩・ジョギング・運動など）※ビール・寝酒は利尿作用で体内水分が減少するので要注意。
手当て	①涼しいところに体を移し衣服を緩める。②安静にして脇の下、大腿部の付根など太い血管の部位を冷たいタオルで冷やす。③高温の部位に水を霧吹きしてうちわで扇ぐ。

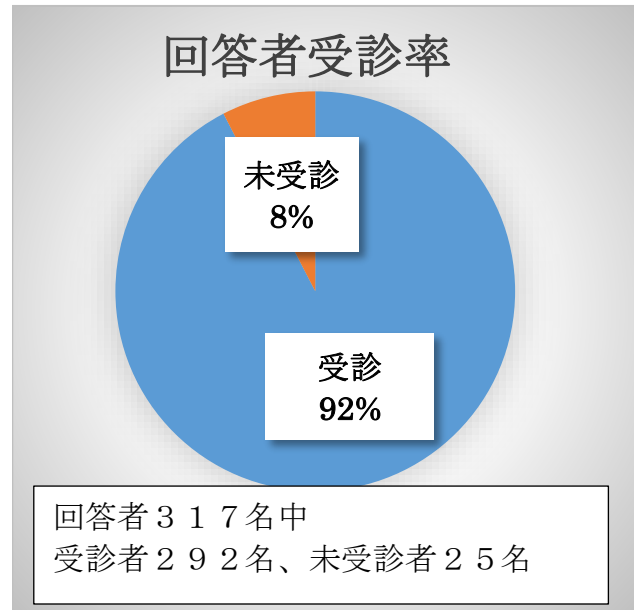
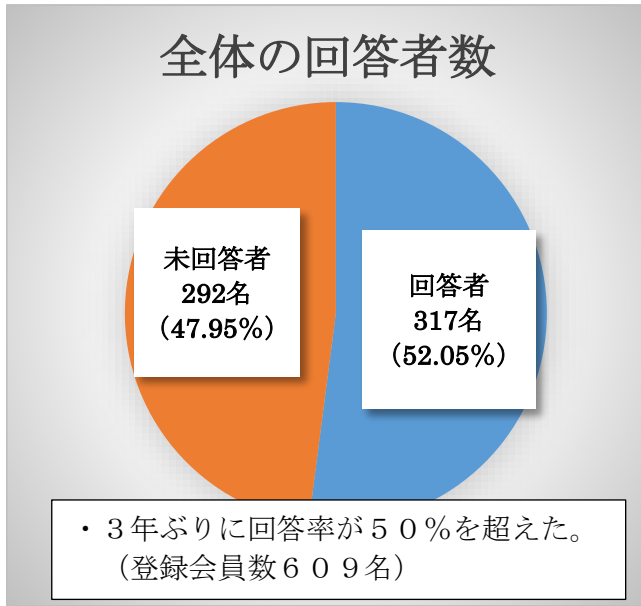


平成29年度健康診断受診調査結果

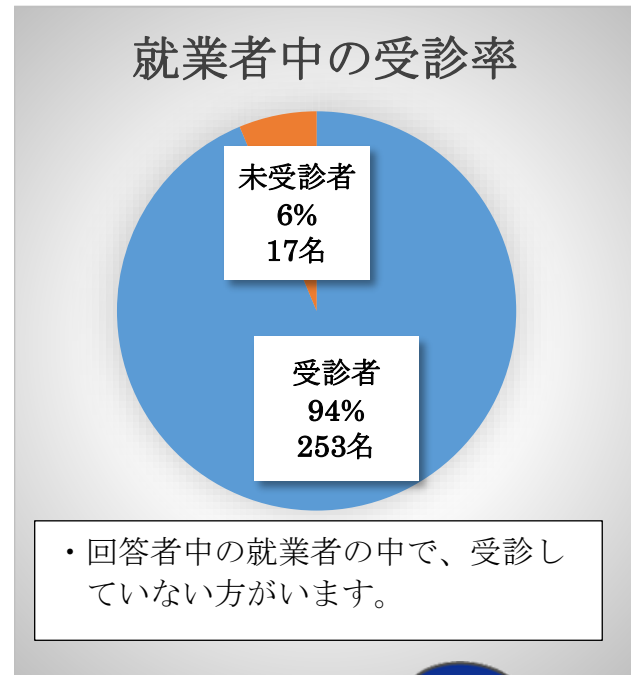
健康診断受診調査につきまして概要がまとまりましたのでご報告いたします。
提出にご協力いただきありがとうございます。

実施内容

- ・平成29年5月31日現在の登録会員609名に対し健康診断受診調査用紙を配布。
- ・平成29年7月14日までに回収。平成28年4月～平成29年3月（28年度）の間に健康管理の一環として健康診断を受診されたか否かを問いました。



	25年度	26年度	27年度	28年度
登録会員数	639	619	609	609
就業者数	495	460	455	441
就業率	77.5%	74.3%	74.7%	72.5%
回答数	348	275	259	317
回答率	54.5%	44.4%	42.5%	52.05%
受診者数	320	251	248	292
回答者受診率	92.0%	91.3%	95.8%	92.11%



皆さん受診しましょう！



安全就業パトロール報告

日時：7月25日（火）9時から
場所：市営住宅跡地
作業内容：除草（南街班）



平成29年7月、安全就業強化月間になっています。今回は作業現場の安全就業パトロールを、理事及び担当事務局職員合計5名で実施しました。安全就業パトロールのポイントは「就業中の健康管理、安全保護具の着用、使用道具の適正」の確認です。当日は湿度が高く30度を超える炎天下の中、10名の会員が就業していました。

山本班長に話を伺いました。健康管理の意識は高く、会員の為に保冷剤、タオルを準備して万全を期していました。作業前の朝礼で、柔軟体操を実施しています。作業も35分から40分毎、10分から15分休憩を取っているそうです。

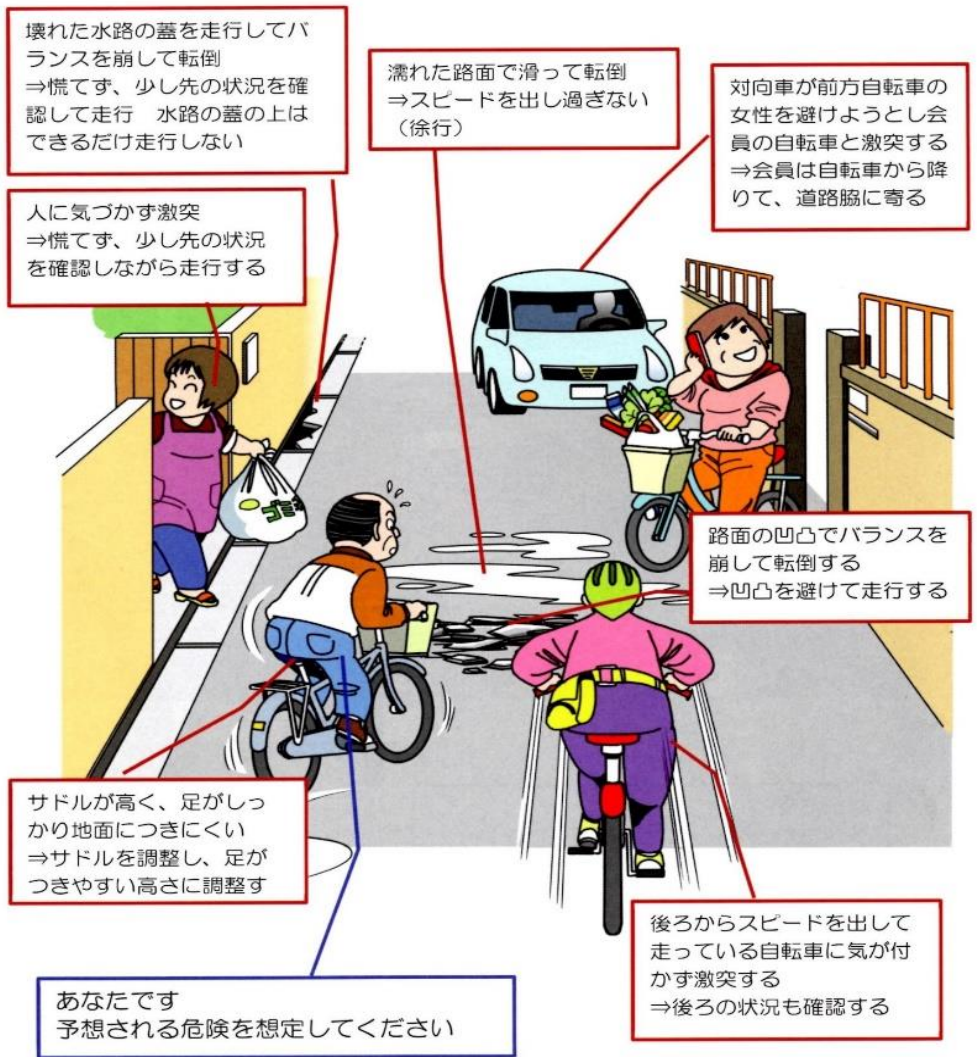
安全管理委員が出した課題としては、①蜂刺され事故、体調不良の早退は即センターに報告すること。②安全保護具の着用及び、使用道具の整理を会員に義務づけること。③作業中の表示板（コーン）の設置 ④日陰シート等、設置して健康、安全の確保をすることです。



右図は、安全日より第31号掲載の危険予知訓練 (KYT) の回答編です。

狭い道路を車、自転車が通ります。その他、障害物や、さまざまな状況が想定されています。

図の中に潜んでいる「自分がケガをする」「人や物に損害を与える」等、危険な状態や予想される危険をできるだけ多く洗い出してみましょう。



“#7119”を知っていますか。

“急な病気やけがをしたとき”

- ・ 病院やクリニックに行った方がいいかどうか。
- ・ 救急車を呼んだ方がいいかどうか。

迷ったときは#7119へ電話する！

緊急性の判断、応急手当のアドバイス等が受けられます。

※詳しくは別添を参照。

